

投稿規定

「医工学治療」は特定非営利活動法人日本医工学治療学会の機関誌であり、医工学治療に関する臨床的、基礎的な学術論文を掲載し、医工学治療ならびにそれに関連する領域の進歩、発展に寄与することを目的とする。

1. 投稿内容

投稿論文は上記の趣旨をふまえたもので、他紙に発表されていないものに限る。論文投稿者のうち corresponding author は論文の題名、執筆者名、所属、内容、利益相反 (COI) など論文に関連するすべての事項に責任を負うものとする。ただし、著作権についてはこの限りではない。臨床研究についてはヘルシンキ宣言に沿ったものであり、動物実験については動物愛護面に十分配慮されている必要がある。また、著者は特定非営利活動法人日本医工学治療学会「医学研究の利益相反 (COI) に関する指針」に則り、投稿論文の内容に関する COI 状態を開示しなければならない。この際 corresponding author は、著者全員から当該論文に関連した COI 状態に関する「医工学治療：自己申告による COI 申告書 (指針の細則、様式 2)」を取りまとめ、これを提出しなければならない。

2. 著作権

投稿者は、本誌に掲載する著作物またはこれを原著作物とする二次的著作物の著作権に関する一切の権利を、特定非営利活動法人日本医工学治療学会に包括的に譲渡することとする。

3. プライバシー保護および倫理的配慮

臨床研究に関連する場合、施設の倫理委員会より承認を得ていること、動物実験の場合は施設のガイドラインに準拠していることを論文中に明記する。患者のプライバシー保護については、容易に個人が特定されないよう、個人情報に十分配慮した内容とする。

4. 論文の採択

投稿論文の採択は、編集委員会の審査によって決定する。特に、原著、症例報告、研究速報、短報については 2 名以上の査読者による査読を経るものとする。

5. 論文の様式

論文の様式としては、原著、症例報告、研究速報、短報、総説、解説、特集、Letter to editor などとし、その様式を指定して投稿する。掲載料は無料とするが、規定枚数を超過した場合は、組上がり 1 頁ごとにその費用を請求する。また、上記様式以外の論文については特別投稿料として実費分を請求する。

執筆に関しては以下の通りとする

- 1) 原稿は A4 版用紙、縦置き、横書き、ワードプロセッサ使用を基本とする。原稿の構成は、タイトルページ、要旨、本文、文献、図表 (含む写真) とする。タイトルページにはタイトル、論文様式、著者名とその所属、キーワード (5 語以内)、corresponding author とその連絡先 (氏名、住所、電話番号、Fax 番号、e-mail address)、COI の有無とその内容を記載する。なお、英文抄録ならびに英文論文については、投稿時に英文校正証明書を添付する。
- 2) 原稿の長さと同様式ごとの構成は以下の通りとする。
原著：10,000 文字 (図、表、写真、文献、400 字の和文要旨、150words 程度の英文抄録を含み、組上がり 6 頁以内) 以内とし、英文での投稿の場合は 4,000words を目安とする。
特集、症例報告、研究速報、短報：6,000 文字 (図、表、写真、文献、和文要旨を含み、組上がり 4 頁以内) 以内とし、英文での投稿の場合は 3,000words を目安とする。
総説、解説：8,000 文字 (図、表、写真、文献、和文要旨を含み、組上がり 5 頁以内) 以内とし、英文での投稿の場合は 3,500words を目安とする。
なお、図、表、写真は 1 点を 400 字分 (英文 150words) と換算とし、転載する場合は著者の責任において版權所有者の許諾を得るものとし、必ず出典を論文中に明記する。カラー写真は実費負担にて掲載可能とする。

6. 原稿の形式

- 1) 原稿は、原則として汎用性のあるソフトウェア (例. マイクロソフト Word、PowerPoint) を用いて作成し、データファイル (CD もしくは USB) およびその出力原稿 3 部を下記編集事務局まで簡易書留で送付する。

「医工学治療」編集事務局

担当 田原 完次

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-31-2 笠井ビル (有) 学術広告社内

TEL : 03-3816-7678 FAX : 03-3818-6374 e-mail : t-gaku@gk9.so-net.ne.jp

データ化されていない原稿は受け付けない。書体は現代かなづかい、ひらがなまじりとし、句読点、かっこは 1 文字とする。外国語は必要最小限 (図、表は可能な限り日本語で記述する) にし、日本語化したものはカタカナを用い、それ以外の人名などは原語で記述する。度量衡の単位は出来る限り SI 単位を使用し、やむを得ない場合は CGS 単位とする。薬品や医療機器の名称は日本語の一般名を用いる。商品名を用いる場合は一般名の後の括弧内に記入する。略語を使用するときは、最初に完全な表記で記述し括弧内に適切な略語を表記する。

- 2) 図表、写真は引用順にそれぞれ通し番号 (1)、(2) … を付け、論文中に挿入箇所を必ず明記する。
- 3) 引用文献は出所順に引用番号を付し、末尾にまとめて記載する。

雑誌の場合：

著者名 (全員)：論文名、雑誌名 (邦文誌は一般的略称、欧文誌は Index Medicus の省略法に準じる) 発行年 (西暦)；巻数：頁一頁。

例) Gejyo F, Yamada T, Odani S, Nakagawa Y, Arakawa M, Kunitomo T, Kataoka H, Suzuki M, Hirasawa Y, Shirahama T : A new form of amyloid protein associated with hemodialysis was identified as $\beta 2$ -microglobulin. Biochem Biophys Res Commun 1985 ; 129 : 701-706.

石森 勇, 峰島 三千男, 佐藤 雄一, 秋葉 隆, 春原 隆司, 増田 利明, 玉村 憲幸, 櫻井 秀彦 : 超音波ドップラーによるダイアラザ内部濾過現象の検証. 医工学治療 2001 ; 13 : 187-190.

単行本の場合：

著者名 (全員)：論文名、書籍名 (編集者、監修者名), pp. 頁一頁, 出版社, 発行地, 発行年 (西暦)。

例) Saito A, Naito H, Hirohata M : Dialytic removal of middle molecules and low molecular weight proteins. In : Progress in Artificial Organs (Atsumi K, Maekawa M, Ota K, eds), pp.412-416. ISA Press, Cleveland, 1984.

中園和子, 岩本ひとみ, 古賀伸彦 : 吸着療法の基礎 (種類と適応), アフェレシスマニュアル改訂第 3 版 (編集 一般社団法人日本アフェレシス学会), pp.119-124, 秀潤社, 東京, 2010.

7. 著者校正

校正は 1 回とし、原稿は原則として返却しない。

8. 別刷の請求

別に定めた規程にもとづき別刷を請求することができる。

9. 特定非営利活動法人日本医工学治療学会のホームページ掲載

本誌に掲載された論文の要旨、キーワード等を特定非営利活動法人日本医工学治療学会のホームページに掲載することがある。